



お手に取って頂き心から
感謝いたします。

牛くぼひさし

市政報告 2023 新春号

令和4年度一般会計補正予算（第8・9・10号）	第8号 5億8378万円6千増	第10号 5億9379万2千円増
	第9号 9億2644万3千円増	（補正後予算額1280億5025万8千円）

主な内容	第8号
○こども応援給付金	物価高騰による影響を踏まえ、子育て支援世帯の経済的な負担軽減を図るため、18歳までのこどもを養育する方に給付金を支給
給付額	・0歳（令和4年4月2日～令和5年4月1日生）⇒1人2万円（2,320人） ・1歳～18歳（平成16年4月2日～令和4年4月1日生）⇒1人1万円（52,920人）
対象者	・平成16年4月2日以降に生まれたこどもを養育するもの（令和4年10月1日時点） ・令和4年10月2日～令和5年4月1日までに出生、転入等で対象となるこどもを養育するもの
スケジュール	①令和4年10月分児童手当受給世帯等 ⇒12月某頃支給予定（プッシュ方式） ②高校生のみ世帯、公務員世帯等 ⇒1月上旬頃の支給開始予定（確認書方式） ③令和4年10月2日以降の出生や転入世帯等 ⇒2月上旬頃の支給開始予定（申請方式）

主な内容	第9号
○コンビニ交付システムの拡充	新型コロナウイルス感染症予防や利便性の向上を図るため、非接触型手続きであるコンビニ交付について、取得できる証明書の追加等を行う。
○福祉施設等の運営継続支援	原油価格・物価高騰により影響を受ける障害者施設、高齢者施設、民間保育所等の施設等運営者に対して支援を行う。
○市内事業者からの寄附活用	株式会社ビー・エム・エルからの寄附について、寄付者の意向である保健・医療をはじめとして環境に資する事業への活用を行う。
○小・中学校の学級数増に伴う教室整備	①高規格救急車の購入に係る補助金②電気自動車充電ステーションの設置③電気自動車の購入等 35人学級や特別支援学級等の編制への対応に伴い、令和5年度に向けた教室整備を行う。
○文化創造インキュベーション施設運営支援業務委託	クリエイター等が新たな価値を創出する活動を行う川越市文化創造インキュベーション施設の令和6年春の開設に向け、開設準備及び運営支援を行う事業者を決定するため、債務負担行為を設定する。

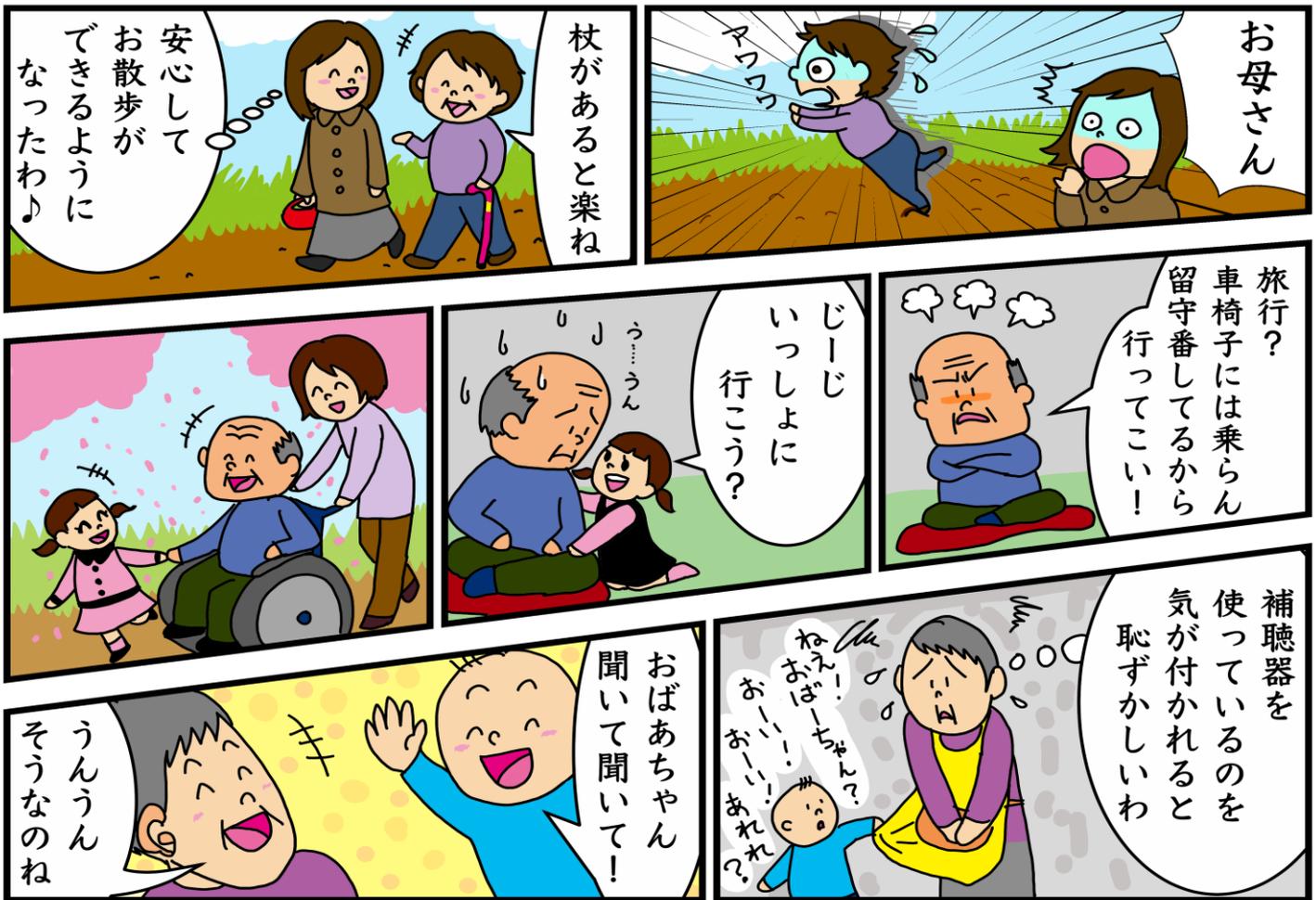
主な内容	第10号
○出産・子育て応援事業	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴奏型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する。
○こどもの安心・安全対策支援事業	「こどもの安心・安全対策支援パッケージ」に基づき、保育所等の送迎車両への安全装置、登園管理システム、こどもの見守りタグの導入支援を行う

12月議会一般質問 高齢者増加とサポート体制の多様化と今後について

今後、令和7（2025）年には団塊世代が75歳、令和22（2040）年には団塊ジュニア世代が65歳を迎え、更なる高齢化が進み介護ニーズの高い85歳以上人口の急増が見込まれています。年齢を重ねるごとに体力の衰えを感じるのは皆さんもご存じかと思いますが、歩行時に杖が必要な状況になったときに「杖を付いて歩いている姿を見られたくない」と杖を付くことができずにいる方がたくさんいらっしゃいます。杖を付いていただければ最後まで自分の足で歩いていられたかもしれません、友人のところへ行きたい、買い物に行きたい、その希望を満たすことによって、かなえることによって、衰えの進行が遅くなるからです。杖から車椅子に移行する際にも、車椅子への抵抗感があるため、介護する側が手助けしにくい、介護者が外の空気や景色を一緒に楽しみたいと思っても不可能になってきます。補聴器についても同様に自分が補聴器を付けたくないという間違ったプライドによって孤立化し、引きこもり、他の部分の衰えまで加速させることもあります。失ってしまった能力を自覚し補うことのできるサービスがあるということを知って頂き高齢者教育によって少しでも川越市民が豊かに最後まで過ごせるようにしていただきたいと思えます。

質問：高齢者が加齢による身体機能の変化と向き合いながら、より豊かに最期まで過ごすために、市はどのように取り組んでいくのか伺う。

回答）高齢になると、加齢に伴い、少なからず身体機能は衰えていく、その変化を自覚し、必要に応じて、サービスの利用や他者からの支援を受けることで、いつでも生き生きと過ごすことにつながる。市としては、正しい知識の普及やサービスに関する情報提供など引き続き周知に努める。また、相互の醸成も必要と考えている。今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるように、地域包括ケアシステムの充実を図る。



高齢者が加齢による身体機能の変化に向き合いながらより豊かに過ごすために
地域包括ケアシステムを推し進めます

医療 住まい 生活支援
介護予防 情報
介護 サービス 正しい知識

牛くぼひさしプロフィール ～『子育て+介護』世代、誰もが住んでよかったと思える地域づくり～

- 昭和51年9月14日生まれ 柔道五段
- 私立八千代松陰高等学校卒業 井上康生と柔道関東大会決勝戦にて僅差判定で敗れる
- 明治大学商学部商学科卒業 全日本学生柔道優勝大会 明治大学団体戦優勝
- 京葉ガス株式会社入社 実業団柔道で活躍
- 京葉ガス株式会社退社 結婚し川越市民となり全盲の両親と同居
- 全盲の市議会議員牛窪多喜男の秘書を務めながら柔道整復師国家資格取得
- 2019年川越市議会議員に初当選
- 保健福祉常任委員会（副委員長）

事務所
〒350-0027
住所 川越市南田島242-1
電話 049-243-9425
ホームページ ushikubo-hisashi.com

※子供一男一女に恵まれながら現在6人家族+（盲導犬：ジョージ）

牛くぼ ひさし | 検索